

藤代ゆうや事務所

〒242-0021 大和市中心 2-14-6 下田ビル1階
TEL. 046-200-5220
FAX. 046-264-9215

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)
定価1部 108円(税込み)
<毎週火曜日発行>



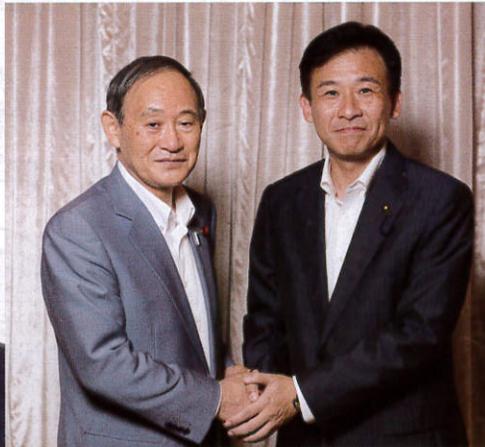
自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

神奈川県議会建設・企業常任委員会委員長 自由民主党大和市連合支部支部長

藤代ゆうや氏

プロフィール

昭和46年8月3日生まれ 大和市立下和田小学校・下福田中学校
神奈川県立大和東高校 法政大学法学部法律学科 大和商工会議所
第一次安倍内閣経済産業大臣秘書官 平成23年4月県議会議員初当選(現在2期)



藤代ゆうやさんを
応援しています
内閣官房長官 菅義偉

神奈川県議会所属常任委員会

- 平成23年 商工労働常任委員会委員
- 平成24年 文教常任委員会委員
- 平成25年 厚生常任委員会委員
- 平成26年 総務政策常任委員会委員
- 平成26年 神奈川県議会運営委員会委員
- 平成27年 産業労働常任委員会委員
- 平成28年 産業労働常任委員会副委員長
- 平成29年 総務政策常任委員会委員
- 平成30年 建設・企業常任委員会委員長(現在)

神奈川県議会所属特別委員会

- 平成23・24年 震災対策調査特別委員会委員
- 平成26・27年 安全安心特別委員会委員
- 平成29年 東京オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップ特別委員会委員長
- 平成30年 経済・産業振興特別委員会委員(現在)

自由民主党

- 自由民主党神奈川県支部連合会副幹事長
- 自由民主党神奈川県支部連合会広報本部遊説局長

神奈川・大和 未来にむかって

人口減少問題・地域再生など、これまで経験のない課題が山積しております。今後、現在の社会システムが立ち行かなくおそれがある中で、自治体の財政課題は深刻化しており、行政機能のスリム化などコンパクトで効率的な機能に行政機能を再構築していかなければならない時代に突入しています。そして、経済

はグローバル化が進む中で、新たな技術革新や、人材育成に対して、未来を見据えた戦略を描き、あらゆる政策を投入して、山積する課題を克服していかなければなりません。成長戦略を描き、安定した行政サービスを守っていくために、未来に責任をもって政策提言をおこなって参ります。

安全・安心 誇れるまち

境川・引地川等の護岸整備などの治水対策を進め、ゲリラ豪雨や大型化する台風による災害の、未然防止を着実に推進していきます。また、災害時の医療救護体制の充実をしっかりと推進し、想定されている首都直下地震等大規模地震に対し、様々な視点で課題を解決し、県民の「命」をしっかりと守っていきます。また、交通環境の整備も進め、安心してくらすことができ、持続可能な社会資本の整備を推進していきます。



境川護岸整備 引地川護岸整備(新しい大橋) 鶴間交差点横断歩道改善

育てる 未来への投資

急激なグローバル化が進む中で、世界で活躍できる人材育成は喫緊の課題であります。その中で、多様な価値観を受け入れられる力をもつ事ができる様に、グローバル教育推進し、また変化していく社会に対応できる様に、一人ひとりの生きる力を高める学校教育を着実に推進していきます。また、第4次産業革命を見据え、多様な人材が参画でき、「人生100歳時代」の到来に対応できる社会環境の整備を推進していきます。

革新 創出

「国家戦略特区」・「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」・「さがみロボット産業特区」の取組をさらに推進し、企業誘致・成長産業の創出を目指し、地域経済の活性化に向けた取組を推進していきます。大和市においても、企業誘致の取組を自民党市議団と連携し推進していきます。また、海老名に本部が所在する、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所と大学や研究機関との連携を深め、企業支援を推進し、雇用を守る取組を合わせて推進していきます。



産業技術総合研究所

広域連携 新たな時代へ向かって

人口減少社会・超高齢社会の中において、これまでの社会システムに大きな変化が起きようとしています。人口減少社会は、医療・福祉・交通道路網・まちづくり・災害対策・環境対策等の課題それぞれに大きな影響を与えると考えています。今後は、それぞれの行政機能のあり方や、広域的に解決できる課題を挙げ近隣の自治体と連携し、人口減少社会が与える課題を研究していかなければならないと考えております。市町村と県が連携し、また他県等と連携の取組を考えていきます。



厚木基地

藤代ゆうやの考え

藤代優也県議会議員のアイデアで 新たな中小企業支援事業が誕生 県内企業の応援を!!

県内の優れている中小企業・小規模企業を広く県民の方々に知って頂く事が地域経済の活性化に繋がり、そして雇用の創出、人材確保などにも繋がることを考え、平成28年神奈川県議会第一回定例会一般質問(平成28年2月25日)で、がんばる中小企業・小規模企業の支援策について質問を行いました。そして平成29年度より「がんばる中小企業発信事業」がスタート、認定された企業を県のホームページ・県のたよりを活用し、県が積極的に情報発信する事業であります。シンボルマークも行政が作るシンボルマークではイメージが硬い為、斬新なアイデアを取り入れる事も提案させて頂き、掲載のシンボルマークが誕生しました。これからも、地域経済活性化の為に真剣に取り組んでまいります。



ME-BYOサミット神奈川の開催

国際会議を誘致しようとする動きは全国の自治体で積極的に行われております。神奈川県では県を中心と成り平成27年に初めてとなる、「未病サミット神奈川」が箱根で開催されました。この会議は、県が重点施策として取り組んでいる超高齢社会・医療関連産業の創出などについて議論されます。WHO・国内の健康関連産業・国内外大学の関係者などが参加され、ヘルスケア分野の熱い議論が交わられます。国際会議の開催は開かれる地域にとっても世界からの情報が入り、その地の文化や歴史も世界に発信する事もできます。また、会議の開催が定期的に行われる事によって、世界の研究者や産業界がその地を目指し、世界のシンボリックな存在になると考えます(スイスで行われるダボス会議など)。その思いを込めて、県知事に質問し、第二回目となる「未病サミット」が平成29年に同じ箱根で開催されました。

かながわ自民党の約束 2019

私たちには、創りあげたい神奈川がある。

「かながわ自民党の約束 2019」を通して、だれもが元気で幸せを実感できる社会を目指します。「かながわ自民党」は県民とともに歩むローカルパーティーであるという自覚と強い信念をもって行動し、この神奈川から新たな夢と希望を実現するために走り続けます。すべては神奈川県民のために。



① 未来を担う子どもたちへ

◆幼児教育無償化

次世代を担う全ての幼児に教育の機会を保障するため「幼児教育の無償化」の取り組みを進めてまいります。

◆待機児童対策の推進

待機児童対策を進めるために県内全域で保育士の人材確保を進めます。

◆私学助成の拡充

私学に通う子どもたちの就学上の経済的負担を少しでも軽減し、私学の魅力向上や生徒確保に反映できるように私学助成を進め、次世代を担う子どもたちの教育環境の拡充に引き続き努力していきます。



国に先駆けて年収590万円未満世帯を対象とした私立高校等授業料の実質無償化を進めました。



◆児童虐待の未然防止・総合的対策

「子どもを守る」を原点に、未然防止等に係わる機関での虐待防止に向けた相談・通報・保護・シェルター等の体制整備を進めるとともに対応能力の向上を進めます。

〔児童福祉司をこの4年間で増員してまいりました。(政令市を除く)〕
〔平成26年度：167人→平成30年度：205人へ〕

◆いじめ・不登校等への対応

「いじめ認知件数」及び「暴力行為発件数」は、2年連続で増加しています。また「不登校」については、小・中学校において増加に転じており、SNS(LINE等)を含むいじめ対応、児童・生徒の欠席要因が、ますます多様化・複雑化しています。これら喫緊の課題に対し、外部専門職であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置等の支援体制を強化してまいります。

② 医療・福祉・介護

◆がん対策の推進

がん検診の受診率向上による早期発見・早期治療に取り組みます。県立がんセンターにおける重粒子線治療(※)などの最先端医療によるがん治療に取り組みます。

※重粒子線治療…放射線治療の一種で、周りの組織を傷つけずに直接がん細胞に照射する治療法。抗がん剤治療と比べ副作用も少なく患者への負担が少ない。



県立がんセンター

◆医療・介護人材の育成・確保

高齢社会に伴い、医療・介護ニーズが高まり、質の高いサービスを提供するため、医療・看護・介護・福祉人材の育成に努め、さらに産科医・小児科医の不足を解消するため、人材の確保に努めます。

③ 安心して子どもを産み育てられる神奈川

◆結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援

結婚・妊娠・出産・子育てに臨む夫婦に寄り添い、親身になって対応できる環境整備を進めてまいります。切れ目のない支援を身近な地域で実現することで、これから家庭を持ち、妊娠・出産を希望する若い世代が、安心して子どもを産み育てられる神奈川を目指します。



④ ともに生きる社会かながわ

◆ともに生きる社会かながわの実現に向けた取り組み

平成28年に神奈川県議会が県とともに作成した「ともに生きる社会かながわ憲章」を推進し、誰もがその人らしく暮らせる地域社会へ県民総ぐるみで取り組みます。

◆かながわ手話言語条例の推進

自民党が主導し、全国で初めて議員提案により制定した「神奈川県手話言語条例」の推進を図り、すべての県民が手話への理解を深め、自らが学ぶ場の構築を図ります。

◆医療的ケアを必要とする子どもたちへの支援

医療的ケアを必要とする子どもたちを支援し、より安全に学べる環境の整備に取り組むとともに、保護者の負担軽減を図ります。

⑤ 安全・安心

◆災害に強いまちづくり

近年、大規模自然災害が発生していることを踏まえ、市町村と連携しながらハード・ソフト両面から減災対策の強化に取り組んでまいります。

◆警察官の増員や組織体制の強化

大規模イベントに備え、外国人犯罪やテロ対策など、多様な犯罪に対応できる警察組織の体制強化を進めます。

◆特殊詐欺・高齢運転対策

近年多発する特殊詐欺や高齢者による自動車運転事故を減らすため、普及啓発活動に努めます。

◆道路交通標識の整備

生活道路や通学路における横断歩道等の道路標識や、交通標識に対する予算確保と必要な整備を着実に進めます。



⑥ 交通基盤の整備

◆道路ネットワークの整備

もっと便利に！県内の自動車専用道路網(高速横浜南線北西線・新東名・綾瀬スマートインターチェンジ等、インターチェンジ接続道路・交流幹線道路)の整備を進めてまいります。

〔自動車専用道路網の整備とインターチェンジ接続道路、交流幹線道路の整備(主な路線)〕



〔平成30年 第1回定例会 経済・産業政策特別委員会資料〕から抜粋



◆鉄道ネットワークの整備

もっと便利に！県内の鉄道ネットワーク(リニア中央新幹線・東海道新幹線新駅・相模線の複線化)整備を進めてまいります。

〔北のゲート』『南のゲート』及び交通政策審議会答申第198号の神奈川県の路線等を示したもの〕

かながわの魅力はコチラ▶



⑦ 観光振興・地域活性化

◆魅力ある観光地の形成

国内外から多くの観光客を誘致するとともに、明治記念大磯邸園・大山・城ヶ島等の地域の文化資源を活かして賑わいを創出することにより、人を引きつける魅力ある神奈川づくりを加速します。

⑧ 地域経済の活性化・中小企業支援・雇用対策

◆特区を活用した活性化と産業振興

3つの特区(※)を最大限活用し、企業連携を促進し地域経済の活性化を進めます。
※3つの特区…さがみロボット産業特区、ライフイノベーション国際戦略総合特区、国家戦略特区

⑨ 農畜産業・水産業

◆都市農業の振興

2022年問題が迫る中、多くの生産緑地で農業が継続されるよう農地税制など国へしっかりと要望し、地産地消の推進や農業者の所得向上を図ります。

◆水産業の振興

・水産資源の確保や漁協の経営安定化を図り、水産業の振興に取り組む漁業者を支援します。
・水産物消費が減少している中、県産県消や学校給食などの魚食の普及に取り組みます。

◆鳥獣被害対策の強化

かながわ鳥獣被害対策支援センターを核に、暮らしや農林業に深刻な被害を及ぼすシカ・イノシシ・サル等の捕獲対策に全力で取り組みます。

⑩ 自然・環境・林業

◆SDGsの理念に則った地球温暖化対策の推進・資源循環・適正処理の推進

持続可能な開発目標<SDGs>を踏まえ、エネルギー政策と資源の循環利用などによる地球温暖化対策の推進、産業廃棄物並びに有価物の適正な保管と処理処分など環境保全に努めます。

◆森林保全と県産木材の利用促進

水源環境保全税と新たに創設された森林環境税を活用し、森林保全と県産木材の利用促進を図ります。

◆花粉発生源対策

花粉の発生を抑える効果のある無花粉スギの植え替えに、積極的に取り組むとともに他県に植え替えを働きかけてまいります。

⑪ 文化・スポーツ

◆大規模スポーツイベントの開催にむけた取り組み

大規模スポーツイベントの成功に向けて、県内市町村と連携し、機運の醸成を図るとともに、必要とされるハード・ソフトの整備を進めます。

◆伝統芸能など文化芸術の更なる振興

県内各地の伝統芸能や文化芸術に多くの県民が親しめる機会をつくります。また市町村と連携し、次世代への継承に向けて取り組みます。

⑫ 議会改革

◆開かれた議会

・インターネット中継や、議会報告会の開催等、引き続き開かれた議会であるよう取り組んでまいります。
・タブレット端末を導入し、ペーパーレス化を進めています。

◆議員提案条例の更なる推進

県民の声に耳を傾け、地域の課題を解決する為、議員提案による政策条例の更なる制定を目指します。



かながわ自民党は「北朝鮮による日本人拉致問題の早期全面解決」を目指します。

機関紙「自由民主」ご購入

かながわ自民党

検索

自由民主のご購読を

希望される方は

ホームページをご覧ください。

